

トップウォール工法

標準積算資料

 **フリー工業株式会社**

平成29年 4月

目 次

逆巻：擁壁構築工法〔トップウォール工法〕

I	適用範囲	1
II	施工概要	1
III	標準断面図	2
IV	適用する積算資料の説明	3
1	裏面排水材設置工	4
1.1	適用範囲	4
1.2	標準施工歩掛	4
1.3	単価表	4
2	パネル設置工	5
	コンクリート製残存化粧型枠〔トップパネル〕		
2.1	適用範囲	5
2.2	機種を選定	5
2.3	標準施工歩掛 (S)	5
2.4	作業条件による補正係数(K)	6
2.5	単価表	6
3	アンカープレート設置工	7
3.1	適用範囲	7
3.2	標準施工歩掛	7
3.3	単価表	7

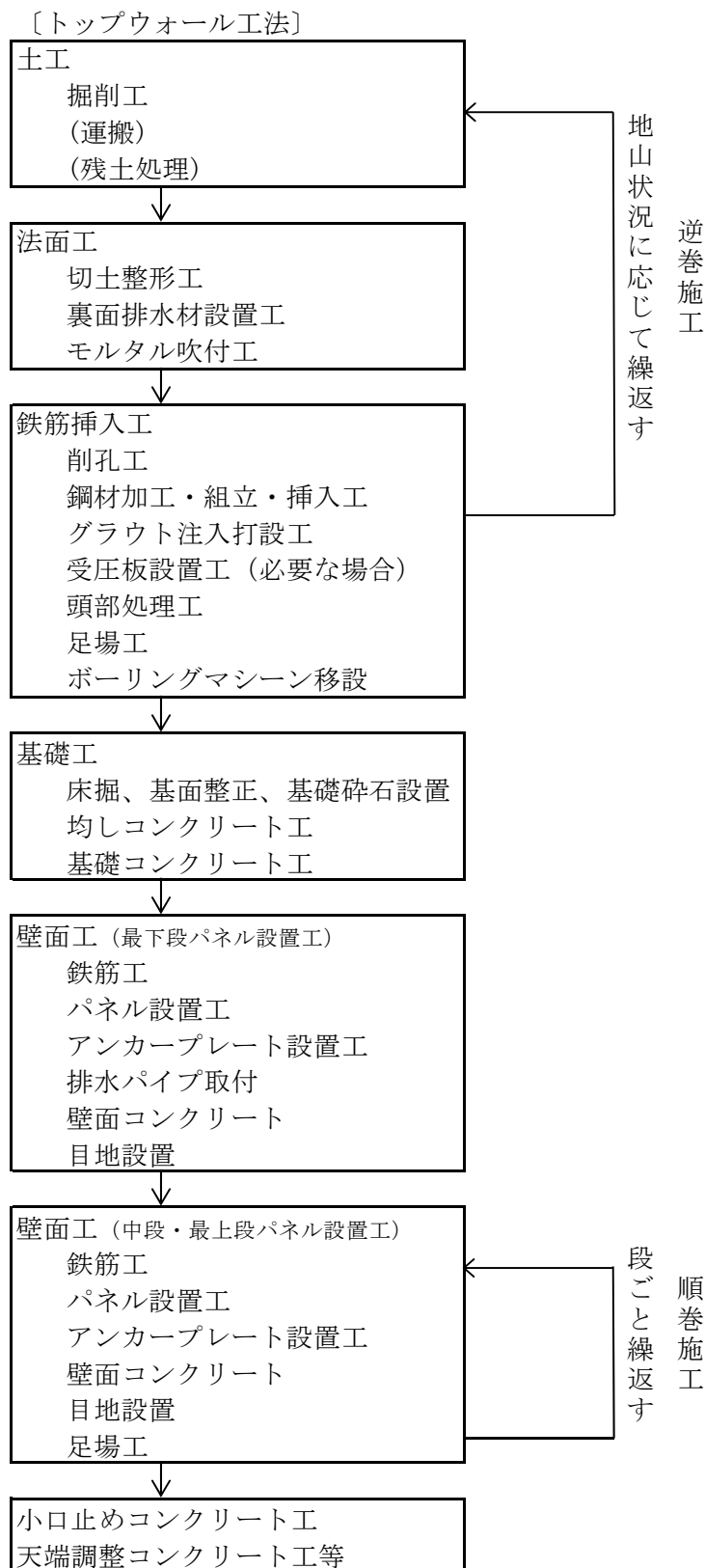
逆巻：擁壁構築工法〔トップウォール工法〕

I 適用範囲

本資料は、〔トップウォール工法〕に適用する。

II 施工概要

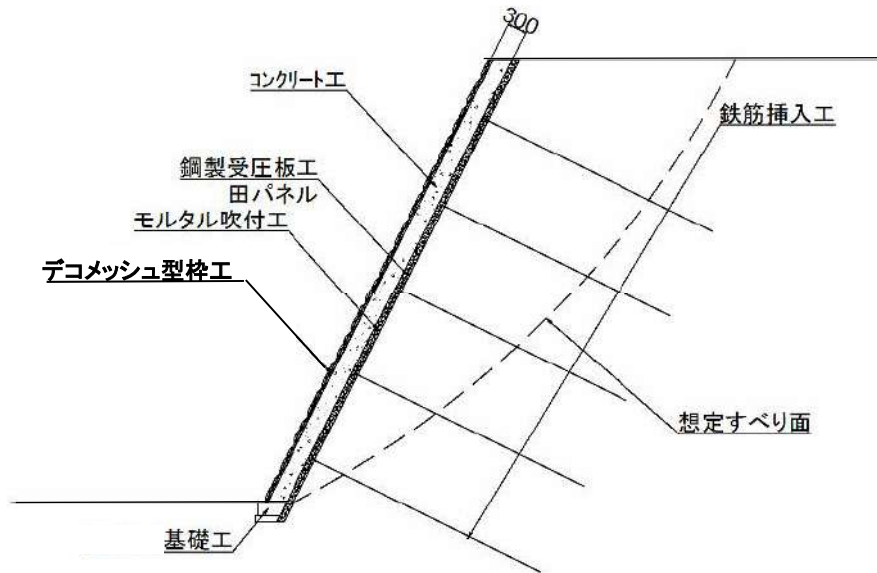
施工フローは、下記を標準とする。



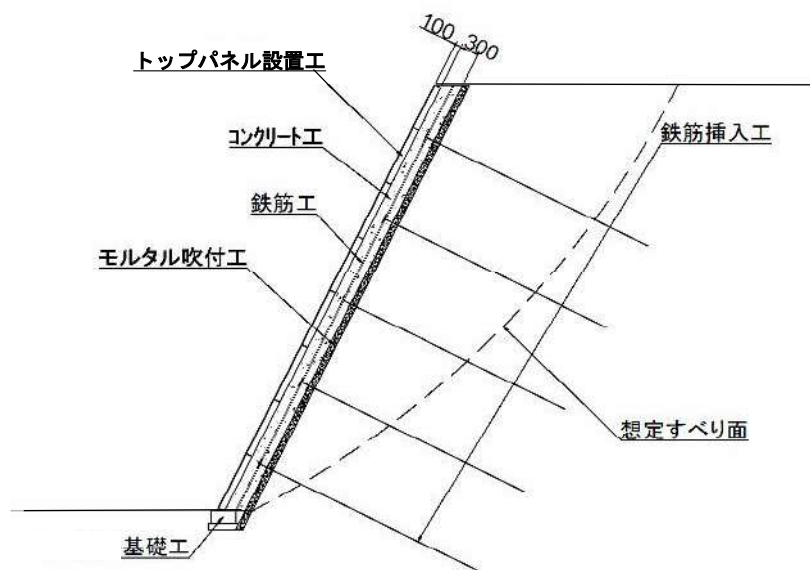
逆巻：擁壁構築工法〔トップウォール工法〕

III 標準断面図

現場打コンクリートタイプ



プレキャストコンクリートタイプ



逆巻：擁壁構築工法〔トップウォール工法〕

IV 適用する積算資料の説明

当標準積算資料で適用しているのは、下記の当標準積算資料-1, 2, 3の工種である。
それ以外の一般的工種は発注者の積算基準または現場条件にあわせた適切な積算基準に準ずるものとする。

	工 種	積算内容	適用する積算資料	
1	土工	地質の選定、施工方法の選定 他	発注者積算基準に準じる	
	掘削工 (運搬)			
	(残土処理)			
2	法面工			
	切土整形工	機械による切土整形	発注者積算基準に準じる	
	裏面排水材設置工 モルタル吹付工	透水マット	標準積算資料-1参照 市場単価	
3	鉄筋挿入工	削孔径、削孔長、補強材径、現場条件等	市場単価 または全国特定法面保護協会の積算資料に基づく	
	削孔工			
	鋼材加工・組立・挿入工			
	グラウト注入打設工			
	頭部処理工			
	足場工			
	ボーリングマシーン移設工			
受圧板設置工 (必要な場合)		田パネル設計・積算要領		
4	基礎工	土工 鉄筋工 (市場単価) 型枠工 コンクリート工	発注者積算基準に準じる	
	床掘、基礎砕石設置			
	均しコンクリート工			
	基礎コンクリート工			
5	壁面工			
	鉄筋工		市場単価	
	壁面コンクリート工	高さ2m以下 人力打設 高さ2m以上 クレーン打設	発注者積算基準に準じる	
	壁面材設置工	鋼製 コンクリート製	デコメッシュ トップパネル	デコメッシュ積算要領 標準積算資料-2参照
	アンカープレート設置工	アンカープレート	標準積算資料-3参照	
	排水パイプ設置	裏面排水材設置に含まれる		
	足場工	単管傾斜足場	発注者積算基準に準じる	
6	小口止めコンクリート工	鉄筋工 (市場単価) 型枠工 コンクリート工 足場工	発注者積算基準に準じる	
	天端調整コンクリート工			
	他			

1 裏面排水材設置工

1.1 適用範囲

裏面排水材を法面に設置する場合に適用する。

1.2 標準施工歩掛

裏面排水材（マット型）を施工する場合は、下記による。

表1-1. 裏面排水材設置歩掛 (10m当り)

名称	単位	小運搬	布設	合計
普通作業員	人	0.05	0.15	0.2

1.3 単価表

表1-2. 裏面排水材設置 (10m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人		表1-1
裏面排水材	透水マット200×30mm	m		シート付
諸雑費		%	3.0	
計				円/m

※ 諸雑費は、裏面排水材の固定部材の材料費であり、労務費および材料費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

※ 裏面排水材から塩ビパイプ（直管）を使って壁面前面に直接排水する方法であり、パイプのジョイント、ソケット、曲がり管等を使用する場合には、その材料費を別途計上するものとする。

2 パネル設置工

プレキャストコンクリート製残存化粧型枠（トップパネル）設置工

2.1 適用範囲

トップパネル(プレキャスト化粧版)を現道から設置する場合に適用する。
小運搬が必要な場合には別途考慮する。

表2-1. のパネルに適用する。

表2-1. 適用パネル種別

タイプ	形状・規格
標準トップパネル	W1780×H1000×T100mm
高半トップパネル	W1780×H500×T100mm
巾半トップパネル	W890×H1000×T100mm
特殊形状トップパネル	上記パネルと係合する特殊形状パネル

(注) 水抜き孔の有無は考慮しない。

2.2 機種を選定

トップパネル設置に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

表2-2. 設置方法と機種, 規格

名称	規格区分	設置方法	使用機種	
			機械名	規格
トップパネル (1780×1000×100)	標準重量450kg/個	クレーン車類の使用	ラフテレーンクレーン	油圧式 25 t 吊

(注) ラフテレーンクレーンは現場条件により標準機種での施工が困難な場合等は現場条件に適合した規格を選定する。

2.3 標準施工歩掛

トップパネル設置標準歩掛は、次表とする。

表2-3. トップパネル設置標準歩掛 (S) (50枚当り)

名称	単位	標準歩掛(S)
世話役	人	3.0
特殊作業員	〃	3.0
普通作業員	〃	9.0
ラフテレーンクレーン運転	日	3.0
諸雑費率	%	5

(注) ・諸雑費は、パネルの設置、留め具及び目地モルタル、シール材等にかかる費用であり、労務費及びクレーン賃料の合計額に上記率を乗じた金額を上限として計上する。

2.4 作業条件による補正係数(K)

作業条件による補正係数は次式による。

$$K = \{K_1 + 1.0\}$$

K : 作業条件による補正係数

K₁ : 1回施工量(1段当りの平均延長)による補正值

表2-4 1回施工量による補正值(K₁)

1回平均設置延長	10m未満	10m以上20m未満	20m以上30m未満	30m以上
補正值(K ₁)	1.0	0.5	0.3	0

(注) 上記の作業条件による補正係数は2.3の標準施工歩掛りに割掛するものとする。

2.5 単価表(現道からの設置)

(1) トップパネル設置工 単価表2-1

(50枚当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	S × K	表2-1～表2-4
特 殊 作 業 員		〃	S × K	表2-1～表2-4
普 通 作 業 員		〃	S × K	表2-1～表2-4
ラフテレーンクレーン賃料	油圧式 t吊	日	S × K	表2-1～表2-4
諸 雑 費		%	5	表2-4
計				円/枚

(2) トップパネル設置材料費 単価表2-2

(一式当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
標準トップパネル	W1780×H1000×T100mm	枚		
高半トップパネル	W1780× H500×T100mm	枚		
巾半トップパネル	W890×H1000×T100mm	枚		
特殊形状トップパネル	上記パネルと係合する特殊形状パネル	枚		
水抜き穴加工		箇所		
引張鋼棒 1000mmセット	鋼棒、座金、ワッシャー、ナット共	組		
引張鋼棒 500mmセット	鋼棒、座金、ワッシャー、ナット共	組		
アンカープレートセット	アンカーバー、プレート、ナット、他	組		
ストッパー金具セット	ストッパー金具、ボルト、ワッシャー他	組		
パネル左右連結プレート	連結プレート、ボルト、ワッシャー他	組		
計				

(注) ・特殊部材が必要な場合は、別途計上する。
 ・実際の積算については施工数量に合わせて適宜計上する。

3 アンカープレート設置工

3.1 適用範囲

アンカープレート設置に適用する。

アンカープレートは、トップパネルと背面コンクリートを早期に確実に一体化するための部材であり、アンカーバー、プレート、ナットの組合せからなる。

3.2 標準施工歩掛

アンカープレート設置歩掛は、次表とする。

表3-1. アンカープレート設置歩掛 (100組当たり)

名 称	単 位	標準歩掛(S)
世話役	人	0.7
特殊作業員	〃	0.7
普通作業員	〃	1.4
諸雑費率	式	1

3.3 単価表

(1) アンカープレート設置工 単価表3-1 (100組当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表3-1
特殊作業員		〃		表3-1
普通作業員		〃		表3-1
諸 雑 費		式	1	
計				円/組

(注) 労務費には現場内での小運搬などを含む

材料小運搬などに重機などを使用する場合は別途計上する。

(2) アンカープレート設置工材料費 単価表3-2 (一式当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
アンカープレートセット	アンカーバー、プレート、 ナット、他	組		
計				

(注) 必要数量を計上する。